

『感想』

- ・子どもたちがみんな嬉しそうに「ありがとう」と言ってくれてとてもやって良かったと思いました。いろいろ改善点はあるけど、とりえずやり切れたことがとてもうれしかった。子どもたちもその保護者の方々もみんな優しくていい人ばかりだった。
- ・自分の描いたイラストが選ばれたときは本当にうれしかった。大変だったけどやりがいがあった。
- ・子どもと関わる楽しさを知った。自分は小さい子に接するのが得意ではないけど関っていくうちに子どもたちの喜ぶ顔がうれしくなった。楽しかったし良い経験ができて良かったです。
- ・みんなでしっかり協力できたので、終わった時の達成感を感じた。
- ・子どもたちが一生懸命やってくれたので、自分も頑張らなくてとは思っただけ、しっかりと教えられたか不安だったけど、多くの子が喜んで帰ってくれて良かったです。何回かミスが起きてしまった時に、もっと冷静に教えてあげられたら良かったなと反省もありました。
- ・今回のシルクスクリーンワークショップを通して地域とのつながりを感じることができました。徐々に人が増えていくのが嬉しかったです。
- ・最初は不安もありましたが、始まると子ども達がたくさん参加してくれて、とてもにぎやかで楽しい雰囲気の中で活動できました。また自分が教えたり運営になることで、伝えることの難しさや相手に合わせながら進めることの必要性を改めて感じました。
- ・みんないい雰囲気でやっていた。
- ・初めてイベントに参加したがとても好評で良かったです。今回特に良かったのが小さい子へ教えることの難しさがある中で、終わった後に「ありがとう」「楽しかった」と言ってもらえてとてもやりがいを感じられました。
- ・子どもたちにシルクスクリーンを教えるのはあまりない体験だったし、子どもたちの楽しむ姿を見て良かった。上手く刷れないことが何度もあったのでこれから回数を重ねて上手く刷れるようになりたい。でも刷りが一番楽しくてやりがいがあるのでとても楽しかった。子どもがメインの客層だったけれど、大学祭は変わると思うので、ウケが良い絵を考えようと思った。

『改善点』

- ・刷りの人数を増やして、他の役は刷りで暇になった人がサポートする形でも良いと思った。
- ・机にやり方の紙を貼っておいてできそうな人には1人でやらせよう。(補助はつく)
- ・刷る係の負担が大きくて、ずっとやっている人がしんどくなっちゃうし、もっとローテーションさせられると良いなと思った。一人でやろうとして精一杯になって、ヘラが洗えてなくて、ヘラがなくなったり机の上が汚くなっていたから、刷る係のローテーションとヘラをどうすればうまく回るか考えたいと思います。
- ・手の空いている人がもっと積極的に周りを見て動けるようになると良いなと感じた。
- ・案内係が次々入れて大変だった。
- ・自分は受付をすることが多かったが中で刷る人とコミュニケーションがあまり取れなかったので次のワークショップでは取れるようにしたい。子どもたちだけでなく、保護者の人とのコミュニケーションも大切だと感じました。
- ・呼び込んだものの「通す」ことが難しかったり、通したものの人手不足で教える人がいないこともあったので、教える人と呼び込みとの連携が必要だと感じました。
- ・案内係は2人いらないと思った。
- ・呼びかけは1人、受付2人。ヘラの数を増やすべき。
- ・人気の版が偏っていて、子どもたちの希望する絵を刷れなかったり、待つ時間が発生したので、一つの絵に何個か版を用意した方がスムーズに案内できると思いました。
- ・乾かす仕事をお客さんに体験としてやって貰えばいいのでは
- ・ドライヤー1つでセルフでやらせるとそこで渋滞してしまうと思う。学校から扇風機を借りて自然乾燥も利用する。
- ・1人2つまでの貼り紙を貼る。
- ・版を洗うのが思ったより時間がかかった。
- ・呼び込みは最初だけで良いと思った。途中からはあっちから興味を示してきた。番号を選ぶ人と版を渡す受付の人が一緒に良いと思った。
- ・できた版がどの人のものか探すのが大変だった。
- ・完成品をもっとわかりやすい場所に置く。
- ・洗い場にゴム手袋を！